

MINEKE SCHIPPER / YURIKO YAMAGUCHI



山口由理子 "Ruahatu, the god of the ocean" 2017 年

今、神話が語るもの

－ 人類の終末と復活の神話 －

エッセイと選択神話集

ミネケ・シッパー

アートワーク

山口由理子

2018 年 10 月 4 日 (木) → 12 月 23 日 (日)

休館日：毎週月・火・水曜日

開館時間：10:00-18:00 ※入館は閉館の30分前まで

■ 10月7日 [日] 14:00- トークイベントを開催

主催：カスヤの森現代美術館 共催：神奈川県

助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団

4.Oct - 23.Dec 2018

Opening Reception and Talk Event: 7. October, 14:00 -

Venue: MUSEUM HAUS KASUYA

Opening Hours: 10:00 - 18:00 (Last admission 17:30)

Closed on Mondays and Tuesdays and Wednesdays

Address: 7-12-13, Hirasaku Yokosuka-city Kanagawa 238-0032

私たち、そして、私たちの祖先も、度重なる自然災害や争いで、何度も生命を脅かされ、苦しみ、怯えて来ました。紀元前の人々の社会では、科学的な根拠に基づいた理解は乏しく、地震、噴火、山火事、洪水等は、神の怒りとして捉え、様々な「神話」を生み出して来ました。現在は、自然現象について科学的に解明出来るようになりましたが、自然災害との戦いが止むことは無く、昔の人と同じようにその脅威に怯えています。さらに現代には人間が生み出した「核」という新たな脅威も加わっています… そんな中、私たちの出来る事は、何なのか？

Humanity's End as a New Beginning

World Disaster in Myths

アメリカを拠点に制作と発表を行っている山口由理子は 2009 年、イタリアにあるロックフェラー・ファウンデーション ペラジオ センターで 1 ヶ月間の滞在制作する機会を得て、水彩画を集中的に制作する。その際、山口の作品に興味を持ったのが、同センターで異文化間文学についての研究をしていたオランダの学者、ミネケ・シッパーでした。

ミネケ・シッパーは異文化間文学の研究に長きに渡り従事し、万国共通の文化、文学について探求するなかで世界各地に残される「神話」に着目。ペラジオ センターでは、世界各地の洪水や災害に関する神話を集め、発表すべく研究をしていました。

もともと世界の繋がりが「連鎖」について強い関心を持っていた山口と、シッパーはここでの出会いを切っ掛けに共同で一つの仕事をしたいとお互いに思うようになり、後の交流の中でシッパーが集め編集した「神話」について山口が一つ一つヴィジュアルを生み出すという作業を少しずつ進めて来ました。今回、その集大成として本展が企画されました。本展は、神話の中でも特に「世界の終わり」に関する物語に注視し、「神話」を通し終焉から再生の新たな可能性を探ろうとするものです。

有限性と未来：ミネケ・シッパー

人類は、まだとても若い。たった三十万年ぐらいである。そして文化的に言えばせいぜい五千年ぐらいの古さである。文化や芸術、科学が戦争よりもずっとコストがかからないということを私たちは歴史からそろそろ学ぶべきだ。

人類の終末は必ずしも世界の終末ではない。私たちは単に知らないだけだ。学者たちは、私たちがどんなに無知であるかということをやより深く承知している。未来は、学問への信念の問題だけでなく、殆ど同じ程度で宗教や芸術、文学への信念の問題でもある。世界中、気楽な自信が人々を前に進ませる。この自信はチェーホフの戯曲『三人姉妹』に美しく表現されている、「一世紀か二世紀、または一千年たったら、人々は新しい、もっと幸福な生活をしているだろう。私たちはそれを見るまで生きることはないが、だから、私たちは今生き、働く。だから私たちは今苦しむのだ。」

戦争や他の災害の憂鬱な残骸から自らを解き放ちながら、人々はより良い将来への常なる希望に寄り続ける。有限性の恐れにかられて、彼らは新しい始まりを探して進む。

Essay and Selected Myths

Art Works

MINEKE SCHIPPER / YURIKO YAMAGUCHI

山口由理子 1948 ~

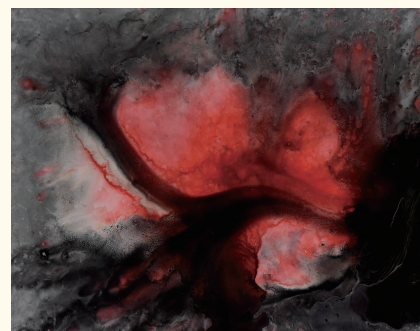
日本で生まれ育ち、後にアメリカに渡り、1975 年にカリフォルニア大学バークレー校で学士、1979 年にメリーランド州立大学で造形芸術の修士号を取得。その後 40 数年 アメリカを中心に作家活動を継続している。山口は作家活動を通し、全ての物事が何らかの繋がりをもち、その関係性の中で起こり、生まれるのではないかという思いに至り、「連鎖」をテーマに彫刻や絵画等様々な 作品を創作している。

ミネケ・シッパー (オランダ) 1938 ~

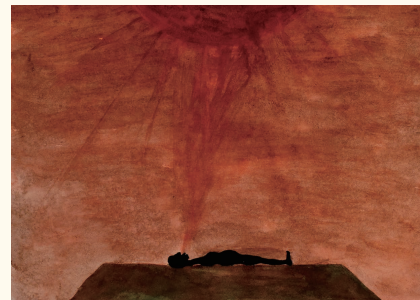
元ライデン大学教授。異文化間文学研究者。作家。学術書から小説まで幅広い分野で執筆を手がける。ナイジェリア、ケニア等の大学の客員教授を経て、中国社会科学院 (CASS) に在籍。※著作：「なぜ神々は人間をつくったのかー創造神話 1500 が語る人間の誕生」など多数



山口由理子 "Manu and the fish" 2016 年



山口由理子 "The Disaster" 2016 年



山口由理子 "Deluge from the subterranean" 2010 年

今、神話が語るもの

ー 人類の終末と復活の神話 ー

エッセイと選択神話集

アートワーク

ミネケ・シッパー 山口由理子

2018 年 10 月 4 日 [木] - 12 月 23 日 [日]

会期中のイベント

- オープンスタジオ・公開制作を開催
山口由理子の来日に合わせ、制作過程を一部公開いたします。(詳細は決まり次第 HP 等で随時ご案内いたします)
日時：10 月 4 日 [木] 14:00 より ※参加申込不要
- オープニング・レセプション＋トークイベントを開催
日時：10 月 7 日 [日] 14:00 より ※参加申込不要

開館時間・観覧料

- 休館日：月・火・水曜日
 - 観覧料：一般：600円 学生：500円 (小学生300円)
 - 開館時間：10:00 - 18:00 (入館は17:30まで)
- ※会期中、10/14(日)、11/23(金)および12/2(日)は予約制イベント開催につき一般の方の見学は12時までとさせていただきます。

美術館へのアクセス

- ◎ 電車、バスの場合
- JR横須賀線衣笠駅より徒歩15分
- 京浜急行汐入駅下車、衣笠駅行きバスにて約15分、金谷バス停下車、徒歩約4分
- ◎ お車の場合
- 横浜横須賀道路で横須賀ICから約5分、阿部倉トンネルを通り平作4丁目交差点の次の信号を左折、福泉寺の先を左折(無料駐車場あり)



〒238-0032

神奈川県横須賀市平作7-12-13

TEL: 046-852-3030 / FAX: 046-852-7488

mail: info@museum-haus-kasuya.com

カスヤの森現代美術館

<http://www.museum-haus-kasuya.com/>

